



資料編



資料 1 成果指標の一覧

政策目標1 安全で安心して暮らせるまち

指標名	現状値 令和2年度・2020年度	目標値 令和7年度・2025年度
1 危機管理体制の充実		
発災時の人的被害者数	令和元年度・2019年度 6人	0人
2 総合治水対策の強化		
河川が溢れる件数	令和元年度・2019年度 0件	0件
急傾斜地崩壊危険区域指定の総指定箇所数	令和元年度・2019年度 34か所	39か所以上
3 災害に強い建築物や公共施設の設備		
市有建築物の耐震化率	令和元年度・2019年度 95.3%	100%
港湾施設の整備要望の実施箇所数(累計)	2か所	10か所以上
民間住宅の耐震化率	令和元年度・2019年度 83%	86%以上
4 生活安全の推進		
市内における刑法犯認知件数(暦年)	令和元年・2019年 324件	270件以下
市内における人身交通事故発生件数(暦年)	令和元年・2019年 367件	260件以下
5 消防体制の強化		
消防団員充足率	令和2(2020)年4月1日時点 99.2%	100%
公務災害件数	令和元年度・2019年度 1件	0件
夜警の実施率	令和元年度・2019年度 100%	100%
消防水利充足率	令和元年度・2019年度 75%	80%以上

政策目標2 誰もが健やかに暮らし活躍できるまち

指標名	現状値 令和2年度・2020年度	目標値 令和7年度・2025年度
1 地域医療の充実		
地域医療支援病院の継続	令和元年度・2019年度 承認要件達成	紹介率及び逆紹介率の 承認要件を満たす
2 健康づくり支援		
健康寿命(お達者度)	平成28年度・2016年度 男性17.48年 女性20.30年	男性18.65年以上 女性21.19年以上
健康意識(いとう健康マイレージ参加者数)	令和元年度・2019年度 17,550人	17,600人以上

3 出産・子育て支援の充実		
子育てを楽しいと思う親の割合 (乳幼児健康診査アンケート)	令和元年度・2019年度 90.5%	95.0%以上
「出産・子育て支援の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	62.0%	70.0%以上
4 保育及び幼児教育の充実		
待機児童数	令和2(2020)年4月1日時点 5人	0人
園での保育に満足している保護者の割合(保育園保護者アンケート・幼稚園評価アンケート)	令和元年度・2019年度 99%	100%
多様な保育への満足度(保育園保護者アンケート・幼稚園評価アンケート) ※ 保育園保護者アンケートのみの数値。令和2年度から幼稚園評価アンケートにおいても同様の質問を新設	令和元年度・2019年度 86% ※	95%以上
5 高齢者福祉の充実		
元気な高齢者の割合	令和2(2020)年4月1日時点 84.1%	84.0%以上
健康寿命(お達者度)	平成28年度・2016年度 男性 17.48年 女性 20.30年	男性 18.65年以上 女性 21.19年以上
生活支援サポーターの養成者数	令和元年度・2019年度 45人(単年)	200人以上 (5年間累計)
6 障がい者福祉の充実		
相談支援事業所の相談件数	令和元年度・2019年度 7,920件	8,500件以上
障がい福祉サービス支給決定者数(実数)	令和元年度・2019年度 587人	630人以上
市内企業の障がい者雇用率(年度末数値)	令和元年度・2019年度 2.02%	法定雇用率以上
障がい福祉サービス利用後の一般就労者数	令和元年度・2019年度 3人	5人以上
7 地域福祉の充実		
「地域内の助け合いなどの地域福祉の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	63.2%	65.0%以上
ボランティアセンターによるボランティア活動あっ旋件数	令和元年度・2019年度 18件	60件以上
8 多様性のある社会の実現		
「お互いの個性と多様性を認め合う社会の実現」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	59.2%	65.0%以上
9 保険・年金制度の運営		
制度理解の醸成等を図るための広報による周知	令和元年度・2019年度 26回	31回以上
公平な負担に対する意識向上の取組や適正なサービス受給のための相談会の実施	令和元年度・2019年度 54回	54回以上

政策目標3 良好な環境が広がり快適に暮らせるまち

指標名	現状値 令和2年度・2020年度	目標値 令和7年度・2025年度	
1 自然との共生社会の推進			
公害の迷惑行為に寄せられる苦情件数	令和元年度・2019年度 18件	15件以下	
愛護動物の迷惑行為に寄せられる苦情件数	令和元年度・2019年度 30件	15件以下	
伊東市森林整備計画に基づき間伐を行った森林面積	令和元年度・2019年度 累計13.8ha	累計22.8ha以上	
2 循環型社会の推進			
可燃ごみの排出量	令和元年度・2019年度 30,758t	29,101t以下	
リサイクル率(総資源化量/総ごみ量)	令和元年度・2019年度 17.85%	20.00%以上	
3 生活排水対策の充実			
環境基準 (河川BOD・海域COD)	八代田橋	令和元年度・2019年度 BOD 0.9mg/l	BOD 2mg/l以下
	渚橋	令和元年度・2019年度 BOD 1.0mg/l	BOD 3mg/l以下
	伊東港中央	令和元年度・2019年度 COD 1.5mg/l	COD 2mg/l以下
4 安全でおいしい水の安定供給			
「安全でおいしい水の安定供給」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	88.0%	90.0%以上	
5 魅力的な都市空間の創造			
「海岸・高原・住宅地及び市街地の街並みなどの良好な景観の形成」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	58.3%	65.0%以上	
土地の使い方について「全体として調和が取れており、良い状態である」と回答した市民の割合(市民満足度調査)	32.6%	42.0%以上	
6 公共交通体系の充実			
「バス・鉄道などの公共交通対策の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	35.3%	45.0%以上	
鉄道、路線バス、デマンド交通、タクシーの年間利用者数	令和元年度・2019年度 8,651千人	現状維持	
7 道路環境の整備			
道路瑕疵による事故発生件数	令和元年度・2019年度 0件	0件	
幹線市道の整備率	令和元年度・2019年度 95.7%	98.5%以上	

政策目標4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち

指標名	現状値 令和2年度・2020年度	目標値 令和7年度・2025年度
1 教育環境の整備		
児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	令和元年度・2019年度 0.16台	1台以上
長寿命化計画に基づく具体的な改修計画の策定・改修の実施	未策定	改修計画に基づく改修の実施
異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数	令和元年度・2019年度 0件	0件
2 未来を創る教育の充実(小・中学校)		
学校が楽しいと思う子どもの割合【小学校】(学校生活アンケート)	89.1%	95.0%以上
学校が楽しいと思う子どもの割合【中学校】(学校生活アンケート)	85.7%	90.0%以上
3 生涯学習活動の推進		
「生涯学習活動の推進」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	74.7%	78.0%以上
市民一人当たりの図書貸出冊数	令和元年度・2019年度 2.81冊	3.76冊以上
4 青少年の健全な育成		
小・中・高生一人当たりの地域学校協働活動への参加回数	令和元年度・2019年度 1.35回	1.68回以上
5 市民スポーツ活動の推進		
「市民スポーツ活動の支援」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	73.3%	80.0%以上
6 歴史・芸術文化の振興		
「芸術・文化に触れる機会の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	62.7%	70.0%以上
「史跡・郷土芸能の保存」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	75.9%	80.0%以上
7 郷土愛の醸成		
伊東市に将来戻ってきたいと思う高校生の割合(高校生アンケート)	58.0%	65.0%以上
郷土に誇りと愛着を持っている高校生の割合(高校生アンケート)	71.6%	75.0%以上

政策目標5 活力にあふれ交流でにぎわうまち

指標名	現状値 令和2年度・2020年度	目標値 令和7年度・2025年度
1 地域資源の魅力向上		
年間来遊客数	令和元年度・2019年度 662万人	730万人以上
観光客の満足度(伊東温泉観光客実態調査)	令和元年度・2019年度 62.3%	95.0%以上
2 新たな観光形態の構築・推進		
伊豆・伊東観光ガイドのPV数	令和元年度・2019年度 2,327,820アクセス	4,000,000アクセス以上
伊東での滞在日数(2泊以上の割合)(伊東温泉観光客実態調査)	令和元年度・2019年度 19%	25%以上

3 広域連携による誘客の拡充		
伊豆半島7市6町の観光交流客数	令和元年度・2019年度 43,859,475人	50,000,000人以上
伊豆半島7市6町の外国人宿泊客数	令和元年度・2019年度 646,530人	675,000人以上
4 商工業の振興		
有効求人倍率	令和2(2020)年3月時点 1.22倍	1.00倍以上
新規創業件数	令和元年度・2019年度 12件	15件以上
5 農林業の振興		
担い手農業者数(年度末の総数)	令和元年度・2019年度 58人	70人以上
担い手への農地利用集積面積	令和元年度・2019年度 69.1ha	84.0ha以上
6 水産業の振興		
水揚数量	令和元年度・2019年度 3,636t	3,600t以上
7 移住定住の促進・関係人口の拡大		
移住者数(静岡県調査)	令和元年度・2019年度 34人	100人以上
転入超過数	令和元年度・2019年度 94人	200人以上
移住相談件数	令和元年度・2019年度 140件	240件以上
8 国際交流の推進・都市交流の促進		
「国際交流機会の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	72.3%	78.0%以上
日本語教室受講者数(延べ人数)	令和元年度・2019年度 958人	1,300人以上
国内姉妹(友好)都市交流事業の実施回数	令和元年度・2019年度 6回	6回以上

構想の推進 総合計画を推進するための土台づくり

指標名	現状値 令和2年度・2020年度	目標値 令和7年度・2025年度
1 全員参加によるまちづくりの推進		
「市民活動などの地域活動の推進」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	65.9%	71.0%以上
「市民の声をうかがう機会の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	50.7%	56.0%以上
2 市民の信頼に応える行政運営		
「市民に対する市職員の対応」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	67.3%	73.0%以上
3 健全かつ持続可能な財政運営		
全ての会計の地方債残高(臨時財政対策債を除く)	令和元年度・2019年度 324億円	300億円以下
「市の財政の健全な運営」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	52.1%	55.0%以上

資料2 第五次伊東市総合計画策定経過

年月日	内容
令和元年 5月 10日	策定方針の決定
6月 29日	<p>■「地域タウンミーティング」実施 (実施日) 6月 29日 7月 4日、11日、18日 9月 5日、12日、26日 10月 3日、16日、24日、31日 11月 9日、14日 12月 5日、15日 (地 区) 市内 15 地区及び全域 (計 16 回) (テーマ) 伊東市の将来像 (第五次伊東市総合計画)</p>
7月 8日	<p>■「未来ビジョン会議」(市民討議会) 実施 (実施日) 7月 8日、30日 9月 4日 10月 8日 11月 6日、18日 (参加者) 20 人 (説 明) 「伊東市の現状と課題」(7/8) 「総合計画について及び現行計画の進捗状況」(7/30) (グループワーク) 「伊東市の今について考える」(9/4) 「伊東市の将来像を描く」(10/8) 「将来像実現のための手法を考える」(11/6) 「プレゼンテーション」(11/18)</p>
8月 13日	<p>■「市民満足度調査」実施 (期 間) 8月 13日～9月 4日 (対 象) 市内在住の 18 歳以上の男女 2,000 人を無作為抽出 (回 答) 回答数 891 人 (44.6%)</p>
8月 19日	<p>■「高校生ワークショップ」実施 (実 施) 8月 19日～20日 (参加者) 伊東高校及び伊東商業高校から男女 2 名ずつ 城ヶ崎分校から男女 1 名、合計 10 名 (テーマ) 1 日目「伊東市の現状について確認する」 2 日目「理想の伊東市像を描く」</p>
9月	<p>■「市内中学生・高校生アンケート」実施 (期 間) 9月～10月 (対 象) 市内中学 3 年生・高校 2 年生 ※市内から熱海、韮山、三島北、日大三島、飛龍、加藤学園に通学する生徒も調査対象とした (市内から 10 人以上が通学する高校) (回 答) 回答数 893 人 (96.1%)</p>
9月 26日	<p>■「市政モニター会議」実施 第五次伊東市総合計画</p>

年月日	内容
令和2年 3月27日 ～ 5月21日	庁内の調整会議（副市長、教育長、部長職）、企画会議（次長・課長職）、ワーキンググループ（課長補佐・係長職）で基本構想案を検討
5月21日 ～ 8月13日	庁内の調整会議（副市長、教育長、部長職）、企画会議（次長・課長職）、ワーキンググループ（課長補佐・係長職）で基本計画案を検討
6月12日	基本構想（諮問案）の決定
6月23日	■ 第1回総合計画審議会 （議題）基本構想（案）の諮問・説明
7月22日	■ 第2回総合計画審議会 （議題）基本構想諮問案の審議
8月20日	基本計画（諮問案）の決定
8月25日	■ 第3回総合計画審議会 （議題）基本構想諮問案の審議 基本計画（案）の諮問・説明
9月23日 ～29日	■ 第1回専門部会 （第1専門部会から第4専門部会までを1回ずつ開催） （議題）基本計画諮問案の審議
10月27日	■ 第4回総合計画審議会 （議題）専門部会の審査経過報告 基本構想諮問案に対する答申の決定 基本計画諮問案の審議
11月6日	■ 第5回総合計画審議会 （議題）基本計画諮問案に対する答申の決定
11月18日 ～20日	■ 市議会常任委員会協議会（総務・観光建設・福祉文教） 基本構想案及び基本計画案の報告・意見聴取
12月25日	庁内の調整会議（副市長、教育長、部長職）で市議会常任委員会協議会で出された意見の対応を検討

※ 審議会は、5回の全体会と1回の専門部会で計6回の会議を開催した。

資料3 策定体制

■第五次伊東市総合計画策定 伊東市総合計画審議会 専門部会名簿

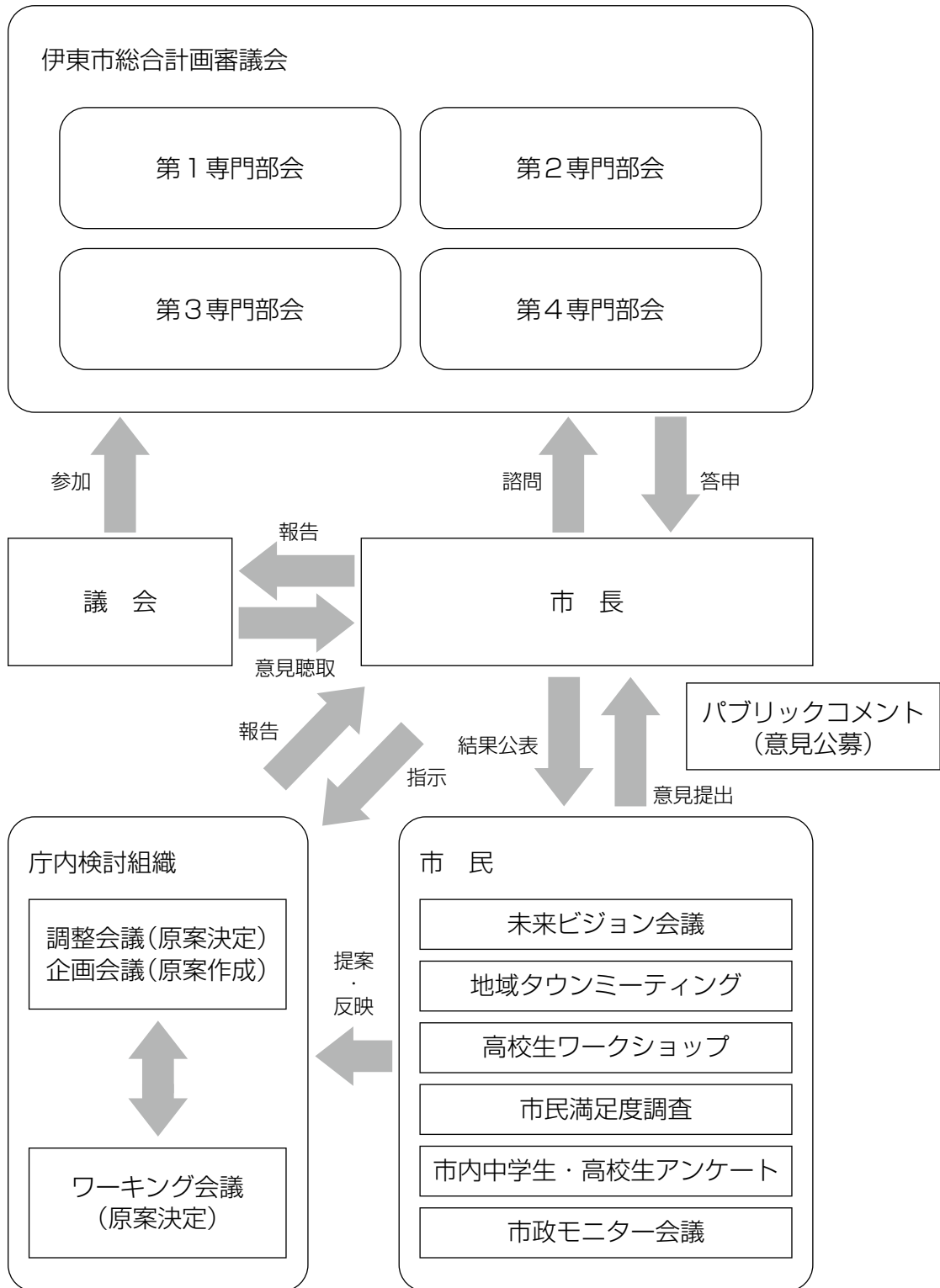
令和2年11月6日現在

会長 鈴木 洋子 (伊東市社会福祉協議会 会長)
副会長 石井 義仁 (伊東商工会議所専務理事)

(部会長：◎、副会長：○、部会長・副会長以外は50音順 敬称略)

部会名	団体名	役職名	氏名
第1専門部会 政策目標1 「安全で安心して暮らせるまち」 政策目標3 「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」	伊東建設関連業者連絡協議会	会長	◎ 齋藤 稔
	伊東市議会	議員	○ 大川 勝弘
	静岡県東部地域局	次長	石川 哲史
	伊豆急行株式会社	企画部長	伊藤 成也
	東日本旅客鉄道(株)横浜支社営業部	伊東駅長	菅原 邦彦
	株式会社東海バス	専務取締役	西野 秀彦
第2専門部会 政策目標2 「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」	伊東市地域行政連絡調整協議会	会長	◎ 原 崇
	伊東市議会	議員	○ 篠原 峰子
	伊東市民生委員児童委員協議会	会長	稲葉 義彰
	伊東市社会福祉協議会	会長	鈴木 洋子
	伊東市女性連盟	理事長	森 知子
	山本哲正司法書士事務所	司法書士	山本 哲正
第3専門部会 政策目標4 「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」	伊東市体育協会	会長	◎ 濱田 修一郎
	伊東市議会	議員	○ 杉本 憲也
	伊東市教育委員会	教育長職務代理者	井上 靖史
	伊東市PTA連絡協議会	家庭教育委員長	加来 真樹子
	伊東市校長会	会長	操上 俊樹
	株式会社伊豆新聞本社	代表取締役社長	田中 実
第4専門部会 政策目標5 「活力にあふれ交流でにぎわうまち」	一般社団法人 伊東観光協会	専務理事	◎ 村田 充康
	伊東市議会	議員	○ 青木 敬博
	伊東商工会議所	専務理事	石井 義仁
	三島信用金庫 伊東営業部	部長	大川 直子
	伊東市農業委員会	会長	長田 直己
	あいら伊豆農業協同組合	代表理事組合長	勝又 俊宣
	三島公共職業安定所伊東出張所	所長	下村 克也
	いとう漁業協同組合	代表理事組合長	高田 充朗

■策定体制図



資料4 諮問・答申

伊企第67号
令和2年6月23日

伊東市総合計画審議会会長 様

伊東市長 小野達也

第五次伊東市総合計画基本構想（案）、伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂案）について（諮問）

本市における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、まちづくりの具体的な方向性を示す第五次伊東市総合計画基本構想（案）、伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂案）を策定しましたので、伊東市総合計画審議会条例（昭和44年伊東市条例第52号）第2条の規定に基づき貴審議会の意見を賜りたく、諮問いたします。

以上

伊 企 第 9 6 号
令和2年8月25日

伊東市総合計画審議会会長 様

伊東市長 小 野 達 也

第五次伊東市総合計画第十一次基本計画（案）、伊東市総合戦略（改訂案）
について（諮問）

本市における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、まちづくりの具体的な方向性を示す第五次伊東市総合計画第十一次基本計画（案）、伊東市総合戦略（改訂案）を策定したので、伊東市総合計画審議会条例（昭和44年伊東市条例第52号）第2条の規定に基づき諮問します。

以 上

伊 総 審 第 7 号
令和2年11月10日

伊東市長 小野達也 様

伊東市総合計画審議会
会 長 鈴 木 洋 子

第五次伊東市総合計画基本構想（案）及び第十一次基本計画（案）
並びに伊東市人口ビジョン（改訂案）並びに伊東市総合戦略（改訂案）
について（答申）

令和2年6月23日付け伊企第67号をもって諮問のあった第五次伊東市総合計画基本構想（案）及び伊東市人口ビジョン（改訂案）並びに令和2年8月25日付け伊企第96号をもって諮問のあった第十一次基本計画（案）並びに伊東市総合戦略（改訂案）については、慎重に審議した結果、次のとおり本審議会の意見を決定したので答申します。

なお、第五次伊東市総合計画基本構想（案）及び第十一次基本計画（案）並びに伊東市人口ビジョン（改訂案）並びに伊東市総合戦略（改訂案）は、今後の伊東市のまちづくりを進める上で、指針となるものです。

厳しい社会経済状況や逼迫した財政状況の中での行政運営ではありますが、市民との協働により、まちづくりの目標である「出会い つながり みんなで育む 自然豊かなやさしいまち いたう」を実現するとともに、人口減少社会に対応し、将来にわたって活力ある伊東市を維持することを目指すため、本審議会の審議経過と答申を十分尊重し、全力を傾注されることを要望します。

記

1 第五次伊東市総合計画基本構想（案）及び第十一次基本計画（案）並びに伊東市人口ビジョン（改訂案）並びに伊東市総合戦略（改訂案）

第五次伊東市総合計画基本構想（案）及び第十一次基本計画（案）並びに伊東市人口ビジョン（改訂案）並びに伊東市総合戦略（改訂案）については、諮問案の一部を、別紙1「修正意見」のとおり修正し、他は諮問案のとおり決定する。

なお、別紙2のとおり意見を付すものとする。

2 審議会の審議状況

(1) 令和2年6月23日 第1回審議会

第五次伊東市総合計画基本構想（案） 諮問・説明

伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂案） 諮問・説明

- (2) 令和2年7月22日 第2回審議会
諮問案審議
- (3) 令和2年8月25日 第3回審議会
諮問案審議
第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画（案） 諮問・説明
伊東市総合戦略（改訂案） 諮問・説明
第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画の審議を専門部会に付託
伊東市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン答申決定
- (4) 令和2年9月23日～9月29日 各専門部会審議
・第1専門部会 9月29日
・第2専門部会 9月29日
・第3専門部会 9月25日
・第4専門部会 9月23日
- (5) 令和2年10月27日 第4回審議会
各専門部会審査報告
第五次伊東市総合計画基本構想答申決定
第十一次基本計画（案）・伊東市総合戦略（改訂案） 諮問案審議
第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画（政策目標1～5）答申決定
- (6) 令和2年11月6日 第5回審議会
第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画（構想の推進等）答申決定
伊東市総合戦略答申決定

3 審議を行った委員

会 長 鈴 木 洋 子

副 会 長 石 井 義 仁

第1専門部会

部 会 長 齋 藤 稔

副 部 会 長 大 川 勝 弘

委 員 石 川 哲 史

同 伊 藤 成 也

同 菅 原 邦 彦

同 西 野 秀 彦

第2専門部会

部 会 長 原 崇

副 部 会 長 篠 原 峰 子

委 員 稲 葉 義 彰

同 鈴 木 洋 子

同	森	知	子
同	山	本	哲正
第3 専門部会			
部会長	濱	田	修一郎
副部会長	杉	本	憲也
委員	井	上	靖史
同	加	来	真樹子
同	操	上	俊樹
同	田	中	実
第4 専門部会			
部会長	村	田	充康
副部会長	青	木	敬博
委員	石	井	義仁
同	大	川	直子
同	長	田	直己
同	勝	又	俊宣
同	下	村	克也
同	高	田	充朗

以上

資料5 市民意向調査の結果概要

■市民満足度調査

- ・「第四次伊東市総合計画」に基づき実施している取組等について、市民の意見や評価を把握し、今後の市政運営及びまちづくりに活かすことを目的として実施しました。

《実施概要》

【調査対象】

- ・ 18歳以上の市民の中から2,000人を層化無作為抽出

【調査期間】

- ・ 令和元年(2019年)8月13日(火)から9月4日(水)まで

【調査方法】

- ・ 調査票を郵送により配布し、同封した返信用封筒(料金受取人払)により回収

【回収状況】

- ・ 回収数：891部 回収率：44.6%

《回答者の属性》

性別

全体	男性	女性	無回答
891	349	461	81
100.0%	39.2%	51.7%	9.1%

年齢

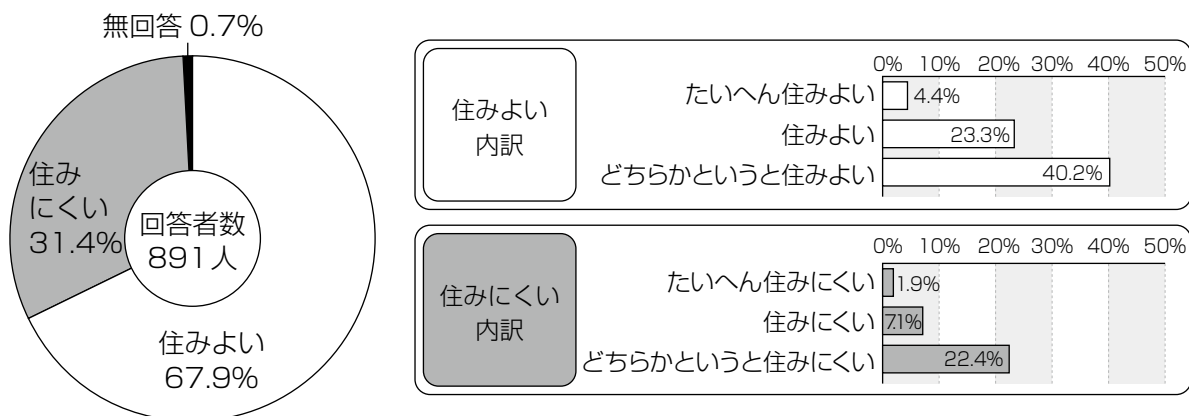
全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
891	5	50	63	128	180	255	203	7
100.0%	0.6%	5.6%	7.1%	14.4%	20.2%	28.6%	22.8%	0.8%

居住区

全体	宇佐美	湯川	松原	玖須美	新井	岡	鎌田	川奈
891	133	31	42	90	12	67	43	89
100.0%	14.9%	3.5%	4.7%	10.1%	1.3%	7.5%	4.8%	10.0%
	吉田	萩	十足	富戸	八幡野	池	赤沢	無回答
	45	86	24	79	101	23	10	16
	5.1%	9.7%	2.7%	8.9%	11.3%	2.6%	1.1%	1.8%

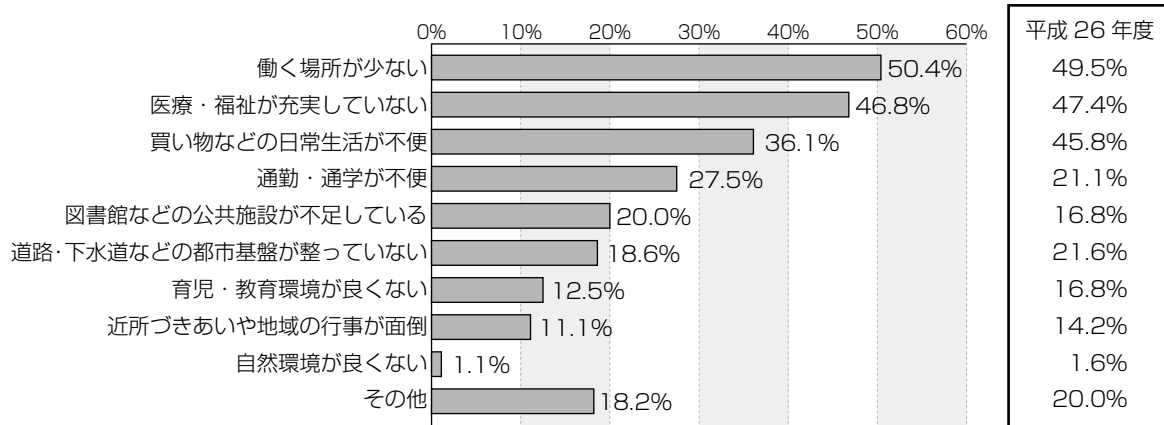
《調査結果の抜粋》

Q. 伊東市は住みよいまちですか。



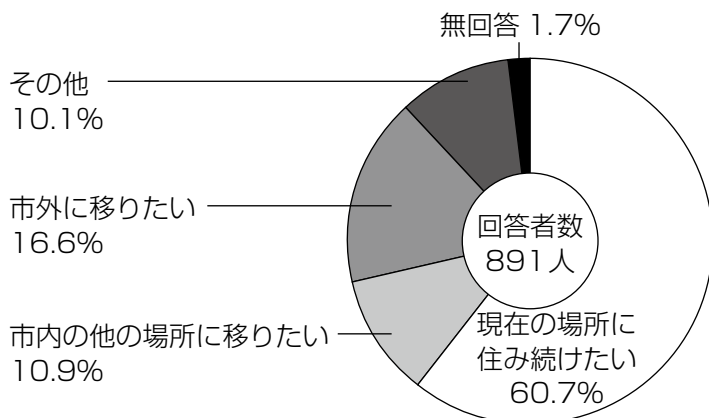
「伊東市の住みよさ」について、肯定的な意見が約7割と否定的な意見を上回っています。

Q. 伊東市が住みにくいと考える主な理由（上記で「住みにくい」と回答した人のみ）



住みにくい理由としては、働く場所、医療・福祉に関する項目が高い割合となっています。

Q. 今後の伊東市への居留意向



伊東市内に住み続けたい人が7割以上となり、市外への転居希望者は17%程となっています。

Q. 伊東市が行っている取組の重要度（上位5つ）

順位	内容	重要度
1	地域医療の充実	97.5%
2	災害対策の充実	97.3%
3	市の財政の健全な運営	96.9%
4	消防・救急体制の強化	96.6%
5	市からの情報提供	95.3%

※重要度は、重要、やや重要と評価した人の割合

地域医療や災害対策の充実、消防・救急体制の強化等、安心して暮らせる環境づくりが求められているとともに、行政運営の改善が重要視されています。

■中高生アンケート

- ・「第四次伊東市総合計画」に基づき実施している取組等について、将来を担う若年層の意見を把握し、今後の市政運営及びまちづくりに活かすことを目的として実施しました。

《実施概要》

【調査対象】

- ・市内中学3年生
- ・高校2年生（伊東市内の高校へ通学している生徒 及び 市内から熱海、韮山、三島北、日大三島、飛龍、加藤学園に通学している生徒） 計 929 人

【調査期間】

- ・令和元年（2019年）9月から10月まで

【調査方法】

- ・調査票を各学校に依頼・配布し、回収

【回収状況】

- ・回収数：893部 回収率：96.1%

《回答者の属性》

性別

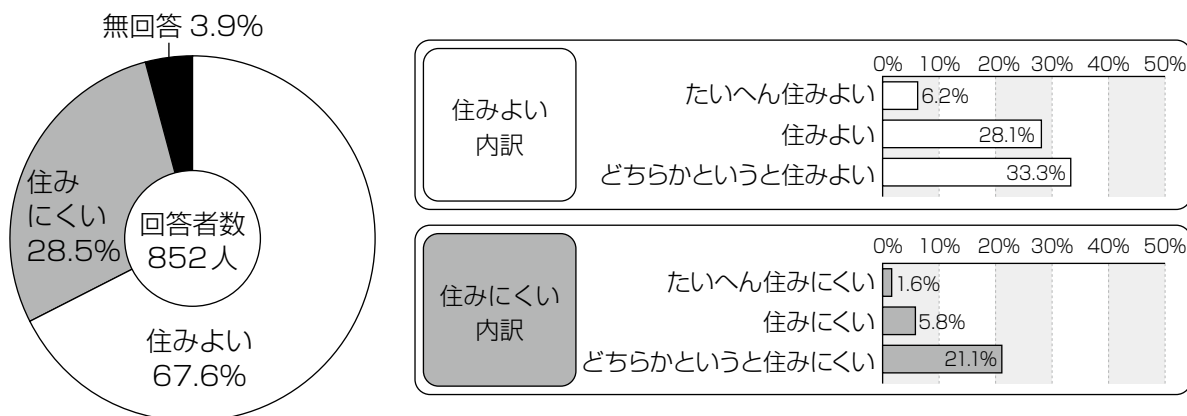
全体	男性	女性	無回答
893	441	446	6
100.0%	49.4%	49.9%	0.7%

居住区

全体	宇佐美	湯川	松原	玖須美	新井	岡	鎌田	川奈	吉田
893	138	23	24	145	7	71	41	107	53
100.0%	15.5%	2.6%	2.7%	16.2%	0.8%	8.0%	4.6%	12.0%	5.9%
萩	十足	富戸	八幡野	池	赤沢	市外	その他	無回答	
82	14	56	72	16	3	28	3	10	
9.2%	1.6%	6.3%	8.1%	1.8%	0.3%	2.2%	0.3%	1.1%	

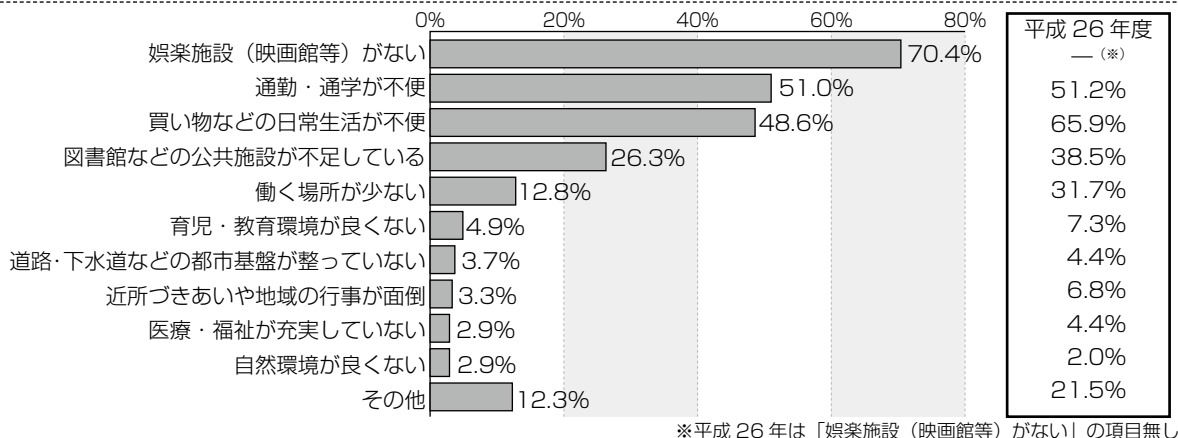
《調査結果の抜粋》

Q. 伊東市は住みよいまちですか。



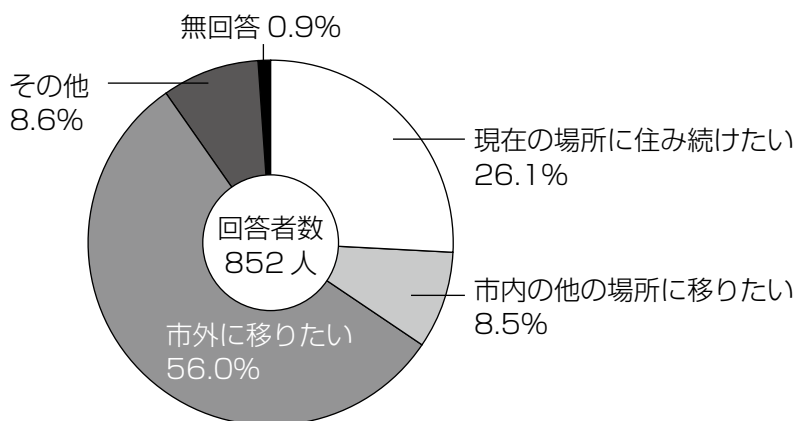
「伊東市の住みよさ」について、肯定的な意見が約7割と否定的な意見を上回っています。

Q. 伊東市が住みにくいと考える主な理由（上記で「住みにくい」と回答した人のみ）



住みにくい理由としては娯楽施設の不足、通勤・通学の不便さが高い割合となっています。市民満足度調査と比較すると通勤・通学の不便さが大幅に上回っています。

Q. 今後の伊東市への居住意向



伊東市外に移りたいとの回答が5割以上となり、市内への定住希望者は35%程となっています。

Q. 伊東市に望む取組の重要度（上位5つ）

順位	内容	重要度
1	バス・鉄道などの公共交通が充実しているまち	66.0%
2	地元の商店や企業が活性化しているまち	37.7%
3	災害への対策がしっかりできるまち	36.7%
4	多くの人を訪れたいと思う場所になるよう整備されているまち （観光地として魅力的なまち）	31.8%
5	地域の医療が充実しているまち	31.0%

※ 24 の選択肢の中から5つ選択

公共交通の充実化を求める割合が突出しています。

■地域タウンミーティング

- ・ 市政に関して市民から直接意向を確認し、今後の市政運営及びまちづくりに活かすことを目的として実施しました。

〈地域タウンミーティング開催日程〉

対象地区	場所	日時	
鎌田	鎌田会館	6月29日（土）	13：30～15：00
川奈	小室コミュニティセンター	7月4日（木）	19：00～20：30
湯川	児童・身体障害者福祉センターはばたき	7月11日（木）	19：00～20：30
岡	健康福祉センター	7月18日（木）	19：00～20：30
宇佐美	宇佐美コミュニティセンター	9月5日（木）	19：00～20：30
新井	新井区民会館	9月12日（木）	19：00～20：30
十足	十足区民会館	9月26日（木）	19：00～20：30
玖須美	市役所	10月3日（木）	19：00～20：30
八幡野	八幡野コミュニティセンター	10月16日（水）	19：00～20：30
松原	ふれあいセンター	10月24日（木）	19：00～20：30
池	生涯学習センター池会館	10月31日（木）	19：00～20：30
赤沢	生涯学習センター赤沢会館	11月9日（土）	13：30～15：00
吉田	吉田区民会館	11月14日（木）	19：00～20：30
富戸	富戸コミュニティセンター	11月21日（木）	19：00～20：30
荻	生涯学習センター荻会館	12月5日（木）	19：00～20：30
全域	市役所	12月15日（日）	13：30～15：00

《主な意見の抜粋》

- ・伊東市は観光資源としていいものを持っているが、それを全国に発信出来ていないため、マスコミやロケ地の広報など働きかけて、伊東市をもっとアピールしてはどうか。
- ・木製遊具や噴水、大きな花壇などがあり、地元の子育て家族が一日中遊べる総合公園があると、子育て世代が喜ぶだろう。
- ・断水等が発生すると、高齢者は給水車まで水を取りに行くことが出来ない。今後防災について、より力を入れていただきたい。
- ・子どもの医療費の無償化、保育園の預け入れ条件の緩和等を行い、若い夫婦が住みやすいまちにしてほしい。
- ・宅地周りの野立てソーラーは原則禁止としていただきたい。
- ・伊東への来訪者が、本市の文化を感じることができるような取組を実践して、まちを活性化していく必要がある。
- ・自転車が安全で走りやすい道路づくり、あるいは、自転車の講習会などを実施して、自転車のまちづくりを進めてほしい。
- ・学校の統廃合により発生する空き教室を、市内に多くあるボランティア団体の拠点として有効利用してほしい。
- ・外国人観光客が増加傾向にあり、誘導看板の多言語化等が必要である。
- ・伊東駅周辺の整備が進んでなく、イメージが悪いため、駅周辺の再整備を早急に進めてほしい。
- ・図書館は、都市の文化のバロメーターであるため、将来を託す子どもたちのために図書館を充実させて、図書環境を整えることが私たちの責務である。
- ・移住者の観点から、伊東市には伊東ならではの自然の豊かさ、人々の心の交流があり、若い人にとっては心が休まり、高齢者にとっては懐かしい昭和時代を感じられる。「ノスタルジックな伊東」というのは総合計画において一つのキーコンセプトになるのではないか。

■高校生ワークショップ

- ・本市の将来を担う高校生から直接意見を把握し、今後の市政運営及びまちづくりに活かすことを目的として実施しました。

《開催概要》

【開催日時】

- ・令和元年（2019年）8月19日（月） 10:30～12:00
- 8月20日（火） 13:00～17:00

【参加者】

- ・市内高校生 10人

《主な意見の抜粋》

- 伊東市の海や山の豊かな自然環境、小室山等からの眺望景観、ジオパーク、温泉文化、花火等のイベント等、固有の自然環境や文化は素晴らしく、今後も残していきたい。これらを保全活用するために、市は具体的な施策や仕組みづくりを進めるべきであり、高校生も協力していく必要がある。
- 伊東市の人口が減少しており、若者が減って、高齢化率が増加していることが気になる。今後は、若い世代が定住するための取組を進めてほしい。
- 観光のまちである伊東市には、素晴らしい観光資源があり、魅力的な観光イベントが開催されている。観光地としてさらに発展していくための活動や取組を進めるべき。
- 伊東市は大好きなまちで、ずっと住んでいきたいが、働く場所が少なかったり、バスや電車が不便であったりするために、市外に移り住んでしまう。雇用や公共交通環境の改善、大学や専門学校等の誘致方策の検討が必要である。
- 活気が失われている中心市街地や商店街において、アートを活かして活気を生み出したい。近年は、市民団体が関わりながら、商店街等でアートを活かしたイベントも開催されていることから、これらの活動と連携し、高校生等が関わるアートイベントの開催やアートを活かしたまちづくりの検討が求められる。

＜高校生ワークショップの様子＞



■市政モニター会議

- ・定期的に開催されている市政モニター会議の中で、第五次伊東市総合計画の策定を踏まえて意見を伺いました。

〈開催概要〉

【開催日時】

- ・令和元年(2019年)9月26日(木) 13:30～15:00

【参加者】

- ・市政モニター8人

〈主な意見の抜粋〉

- ・全国的な問題ではあるが、伊東市でもかなり少子高齢化が進んでいる印象。若い人が伊東市に戻りたいと思えるような住みやすいまちになることを望む。若い子育て世代の費用負担を軽減する手立てがあると良い。
- ・空き家が増加傾向にあるが、空き家が増えることは治安の悪化や観光資源の低下につながるため、空き家問題の解決と関連させ具体的な手立てを考える必要がある。
- ・市には観光、飲食、介護の仕事しかない。観光に力を入れるのは大事であるが、雇用の創出等伊東市に住む人達に対する施策も必要であり、特に若者の雇用環境整備に力を入れていただきたい。
- ・小中学校の再編に関し、対象校の保護者はスクールバスの運行があるのか等様々な不安を抱えている。また、部活動の選択幅が狭まったり、市外の学校へ出てしまったりしており、小中学校の教育環境整備に力を入れていただきたい。
- ・ごみのふれあい収集はとても素晴らしい取組であるため、積極的に周知し、今後もずっと続けていただきたい。
- ・消防団について、どの地区も若年層の人数の減少により団員確保が困難であり、災害時等に実際に活動できる人数はとても少ない。消防団組織を整理し、定数の縮小により確実に活動できる人員を確保するとともに、報酬や待遇を手厚くすることも必要だろう。
- ・市民の方でも知らない観光イベントがあるので、市内外への情報発信の強化が必要だと思う。イベントの周知方法については時代とともに手法が変わり、直接色々な所に出向いてキャンペーンを行う機会が少なくなっているが、直接お客様と顔を合わせて宣伝することも大事である。